

平成 24 年 12 月 28 日
一般社団法人全国銀行協会

全国銀行の平成 24 年度中間決算の状況(単体ベース)

<要 旨>

1. 経常利益

経常収益は、国債等債券の関係収益が増加したものの、資金運用収益が減少したことから、7兆8,382億円（前中間期比1,089億円、1.4%減）となった。

経常費用は、株価下落に伴い株式等償却が大幅に増加したことから、6兆2,572億円（同3,155億円、5.3%増）となった。

この結果、**経常利益**は、1兆5,809億円（同4,244億円、21.2%減）と4年ぶりに減益となった。

2. 中間純利益

中間純利益は、1兆1,742億円（同2,010億円、14.6%減）と2年連続で減益となった。

3. 業務純益

業務純益は、2兆7,266億円（同1,043億円、4.0%増）と2年ぶりに増益となった。

（注）平成 24 年度中間決算における**全国銀行**とは、都市銀行 6 行（みずほ、三菱東京UFJ、三井住友、りそな、みずほコーポレート、埼玉りそな）、地方銀行 64 行、地方銀行Ⅱ（第二地方銀行協会加盟銀行）41 行、信託銀行 4 行（三菱UFJ信託、みずほ信託、三井住友信託、野村信託）、新生銀行、あおぞら銀行の 117 行である。